

ひまわり



編集・発行 茨城県児童館連絡協議会

東茨城郡大洗町磯浜町8249-4 茨城県立児童センターこどもの城内
電話 029-266-3044 FAX 029-266-3045
E-mail:kodomo@crux.ocn.ne.jp http://www.kodomonosiro.jp/

 社会福祉法人 茨城県共同募金会
共同募金配分事業

「世代を担う子どもを育てる家庭のために」

茨城県保健福祉部子ども家庭課長 石川祐治



んだ悲しい事件・事故が後を絶ちません。どのように子どもたちが健やかに成長することのできる安全・安心な居場所をつくっていくかは、社会全体で考え、取り組むべき課題であると考えております。

最近では、育児に積極的な父親である「イクメン」や、育児など部下の私生活に配慮できる上司である「イクボス」などの後押しを官民ともに進めています。一方で核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化などに伴い、育児不安を抱える保護者が増加し、結果として子どもたちが厳しい環境に置かれる事態も少なくないものと思われまます。

このような課題を解消するためには、地域と家庭を繋ぐ取り組みが欠かせないものであり、児童館を拠点としている母親クラブをはじめとする民間の子育て支援団体の活動は、非常に重要なものであると考えています。

県では、昨今の社会情勢の変化や国の動向などを踏まえ、平成二十七年三月に「大好きいばらき次世代育成プラン」を策定し、「親づくり」、「親育ち・子育て」、「支えあい」の三つの基本方針を掲げております。

これからの時代は、三つの基本方針に基づく各種施策について、相互に連携し、それらの機能を補完し、有機的な繋がりがもって、安心して子育てができる環境整備が求められてお

ります。
児童館は、平成二十七年年度から開始された子ども・子育て支援新制度における放課後子ども総合プラン、地域子育て支援拠点などの制度と密接な連携を築くことにより、すべての子育て家庭に素晴らしい居場所を提供できる可能性を秘めていると考えております。

子どもたちは次の世代を担うかけがえのない存在であり、その健やかな成長は、私たち全ての人の願いであります。児童館活動にたずさわる皆様におかれましては、すべての子どもたちが豊かな愛情に包まれながら、夢と希望にあふれ、健やかに成長できるよう今後ともご尽力いただきますようお願い申し上げます。





地域ぐるみの 子育て力

阿見町放課後児童クラブ
支援員 石引 英子

阿見町にある学校区児童館は、児童公園が隣接し、自然豊かな環境に恵まれています。母親クラブや、小学生を対象にした二輪車教室・絵手紙・押し花・ダンス・フラワーアレンジメントなどの活動を行っているほか、放課後児童クラブと一緒に施設を利用していることもあり、下校後の児童館は、クラブの子どもたちと地域の子どもたちが一緒に遊ぶことができる環境になっています。

現代の子どもたちにもみられる傾向として、人間関係の希薄化や自己中心的な行動が指摘されていますが、こうした問題を考えるうえでも、人と



の「つながりの場」である児童館の役割は大きいと言えると思います。また、育児不安や孤立した子育てが問題となる中、社会全体の教育力を高めるという意味からも、地域に根ざして活動する児童館は、大人にとっても支えを得て、子育てに取り組む意欲や自信を高めていくことができる「安心の場」であると感じています。

この一年間、放課後児童クラブの支援員として、学校区児童館で子どもたちとともに生活をさせていただきましたが、児童館の先生方にはクラブの子どもたちを温かく見守っていただき、大変感謝しております。本来にありがとうございました。これからも児童館が多くの子どもたちの笑顔でいっぱいになることを願っています。



阿見町

つくば市



じどうかんは、 楽しいな

つくば市立竹園西小学校
二年 中村 美咲

私は、いつも学校からじどうかんへ

行きます。学校からじどうかんにつくと、まずおやつを食べます。お友達と、おしゃべりしたりしてたべます。おやつを食べ終わるとしゅくだいをはじめます。みんな、集中してがんばります。しゅくだいがおわるとすぐに、いっぱいあそびます。じどうかんには、二輪車や竹馬、ボールがあるので、いつも何であそぼうか考えます。三時三十分からは外あそびの時間があります。外に行く人と行かない人がいます。私は、だいたい外に出ます。外に出たら、お友達としばふにねつ転がったり、どんぐりひろいをしたりします。たまには、えいがの日や工作の日、やきいもの日とたくさんあります。夏には、かき氷の日があります。シロップのしゅるいもたくさんあります。レモンやメロン、いちごなどたくさんあります。外あそびがおわる時間は、だいたい春と夏は五時ごろで、秋冬は四時二十分ごろで



す。外あそびがおわったら、私は、プレールームでドッチボールをするのが好きです。ボールをとる力も、なげる力もついてきました。これからも、じどうかんであそびたいです。



友情を深め合う場所

つくば洞峰学園
つくば市立東小学校

酒井 珠菜

私は、三年生の時に転入してきました。学校では、少ししか友達がいませんでした。でも、児童館で遊んでいたら、どんどん友達が増えて、児童館へ行くのがとても楽しみになっていきました。そして、学校の友達も児童館に来ていたので、学校の友達とも仲良くなりました。今では、児童館ですつと遊んでいた友達がいちばん仲の良い友達です。私はもう、六年生です。でも、今でも児童館に行つて遊んでいます。児童館でも、集中して勉強できるので、勉強道具を持って行き、勉強している時もあります。

今は、友達がたくさんいます。また、最初の頃より仲が良くなった友達もたくさんいます。

私は、児童館でいろいろな事を教わりました。中学生になつても、そんな児童館に行きたいと思っています。



「児童館って楽しいね」

五霞町立五霞西小学校
五年 須釜 千景

私は、西児童館をよく利用します。友達とサッカーをしたり、プラントで遊んだりしています。室内では、トランポリンをしたり、読書をしたりしています。ドッジボール大会などのイベントがあるのも、とても楽しみにしています。

児童館で遊ぶことで、私は学校であまり話さなかった子とも仲良くなりました。ほかの学年の子ともいっしょに遊んだりするので、いつの間にか仲良くなります。

私は、みんなと児童館で遊べるのが、楽しいうれしいです。学校で、「今日は児童館で何をして遊ぶ?」と友達と相談するとき、とてもワクワクします。

西児童館は私にとって、たくさんの友達ができた大切な場所です。児童館で仲良くなった友達と、これからもずつと仲良く遊びたいです。六年生になつても、西児童館を利

用したいと思っています。



常総市の豪雨

がんばっぺ常総

水海道児童センター
三坂児童館

職員一同

関東・東北豪雨を経験して

平成二十七年九月十日早朝、大雨特別警報発令。鬼怒川の水位は過去に見たことがない程でした。三坂児童館は鬼怒川沿い、水海道児童センターは市街地にあり、どちらの地区にも避難指示が出たことから市が臨時休館を決定。職員は避難所になった社協へ勤務となりました。

十二時五十分、三坂地区で鬼怒川が決壊。テレビ中継、濁流の中に児童館の姿もありました。同市



を流れる八間堀川もあふれ、更に決壊した川の水が南へと流れ、市街地を含む市東部の広範囲をのみ込みました。結果、児童センターは床上三十センチ、児童館は床上十センチの浸水被害となりました。町に流れ込んだ水がしばらく引かず、施設の確認が遅れ、カビが発生。多くのおもちゃ、絵本、備品等の処分を余儀なくされました。

その後施設復旧のため、清掃と備品等の運び出しを行いました。両館とも職員数名。途方もない作業のように思われましたが、利用者や地域の高校生、各地からのボランティアの協力により、復旧工事ができる段階にまで進みました。

イベント「地域の輪。」

みんなのWAI!

こんな時だから元気になろう、と市災害ボランティアセンター支援プロジェクト会議が音頭をとって、十月末から十二月まで、計四回のイベントが行われました。県見連、児童健全育成推進財団をはじめ、県内外の大学生、たくさんの方が協力してくださいました。休館していた両館。イベントで利用者に再会でき、互いの無事を喜びました。特に児童館の利用者の中には決壊地点付近の子も心配していましたが、元気な顔を見て安心しました。災害は子どもたちの生活も変えていきました。学校、地域行事の中止、遊び場はゴミ置き場になり、中にはお家を手った子もいます。利用者「災害後、こんなに楽しそうな子どもたちを見るのは初めて」との声が印象的でした。

両施設は、工事終了予定の三月末まで、近隣の集会所をお借りして活動しています。災害前からの利用者が来館し、その笑顔に元気をもらっています。

この災害を通し、右記以外にも各地から「何かできる事を」と物品の寄付や多岐にわたるご支援をいただきました。本当に励まされ、感謝でいっぱいです。いただいたご支

援を胸に「完全再開」「地域の子どもたちの笑顔があふれる場所」を目指し、一歩一歩前進していきます。ありがとうございます。



常総市の児童館へ

「少しでも多くの人の思いを集めよう」をスローガンに、災害見舞応援募金に、ご協力いただきました。ありがとうございます。

各児童館から寄せられた募金額は、二二九、〇四二円集まりました。とをご報告させていただきます。

児童館等職員研修会

第二回研修 「配慮を要する児童の対応」 に参加して

土浦市立都和児童館

来 栖 和 子

十月一日茨城県総合福祉会館に
おいての研修会に参加し、茨城キリ
スト教大学文学部児童教育学科教
授石田隆雄先生の講義で勉強させ
ていただきました。

ご講義の中で、子ども達は周り
と違った子どもがいるとその子を笑
い者にしていじめてしまう。そして
笑われた子どもはふさぎ込んでし
まう。又LDの子どもは周囲の子
どもとコミュニケーションを取る事が
難しく「あれ」「これ」「それ」と
言う指示語が理解できない。これ
らは本人の努力ではどうにもならな
いため特異性に寄り添った支援が大
切と言うお話がとても印象に残っ
ています。

「配慮を要する児童の対応」と
言う奥の深い科目でありましたが、
いくつもの例を挙げてくださり誰に

でもわかりやすくお話をして頂き
ました。この研修で学んだ事を児童
館でも活かしてより良い支援にし
ていきたいと思えます。

研修に参加させて頂き感謝して
おります。



第三回研修 「表現活動」に参加して 折り紙で楽しい紙コミュニケーション

かすみがうら市立稲吉児童館

小 田 逸 子

十二月一日つくば市荃崎交流セン
ターにて第三回研修会、鈴木恵美
子先生の実技「表現活動」(四角
い紙から生まれる丸い人間関係)の
講義・実技に参加させて頂き
ました。

日頃、児童館ではなじみのある
折り紙ですが、鈴木先生のご指導
で三角に切った紙三枚のパズル遊
びや、簡単な折り紙実技での紙コ
プターや風船風車など遊べるおも
ちゃ作り、メッシュの折り紙です
てきなクリスマス飾りにと、自由
自在に作り出される楽しい折り
紙ワールドを体験しました。

また、折り紙の折り目アイロンを
空中で指のみでつける方法や、出
来栄えでなく作る楽しさを感じて
遊ぶ事、身近で簡単だから交流の
場が広がっていくなど、折り紙
コミュニケーションを実感する
ことができました。

古来より伝わる日本の折り紙は、
世界に広がるオリガミ文化となり、

あらゆる分野に貢献している折り紙
の技法など、目を見張るものば
かりです。特に鈴木先生の素晴
しい花の作品は、本物と見間違
うほどに活き活きとして、折り紙
の世界の奥深さを改めて教えて
いただきました。

これからも幼児から大人まで、
誰でも身近に手にすることので
きる折り紙を使い、交流を
広めていく場として、児童館
の活動を更に充実させてい
きたいと思えます。このよう
な研修に参加させて頂き
感謝いたします。ありがとうございました。



神栖市・市制一〇周年 記念事業

「こどもフェスティバル」を行って

神栖市立平泉児童センター

館長 垣内 よし枝

平成二十七年で、神栖市は市制十周年を迎えた。各方面へ前から市より記念事業の実施の呼びかけがあった。神栖市全七児童館が同じ指定管理者で横の繋がりを活かして児童館全体で「こどもフェスティバル」を行う事を決めた。平成二十六年秋から約半年の準備期間、各館よりの代表の実行委員により進めていった。とても大きなイベントで解らない事が沢山あったが試行錯誤しながら平成二十七年四月二十九日当日を迎えた。神栖市神之池陸上競技場に特設ステージを設け、子ども達の発表を主として約三十の模擬店（飲食・工作・ゲーム等）と警察・消防署の協力での体験や教室を行った。約六千人の親子を中心に参加して頂いた。子ども達の笑顔やスタッフの元気に助けられ無事に終わる事が出来た。

児童館スタッフのエネルギーと市の協力体制には感謝したいと思う。



来年度は各館に戻り「まつり」を行うがこの経験を活かし、児童に笑顔と元気を届けたいと思っている。

人と人とのつながり 三世代交流

つくば市立大曾根児童館

館長 根津 友紀子

大曾根児童館は、平成十九年に設立させたつくば市で十八番目の児童館です。設立九年目を迎えた現在では、乳幼児親子から小中高校生、シルバー世代の方々まで毎日約百六十名の方々が利用しています。

大曾根児童館の特徴は、つくば市で初めて多世代交流室を併設していることです。老人福祉センターの跡地に建てられたことにより、これまでの児童館にはない多世代交流を図る役割が求められ、乳幼児親子からシルバー世代の幅広い方々が交流できる多世代交流型児童館になっています。

今年度は、乳幼児親子とシルバーの方と手遊びや季節の歌を楽しむふれあい交流会、小学生とお月見だんご作りやフラダンスを楽しむ交流会などさまざまな多世代交流事業を実施し、たくさんの方々に参加していただきました。また、事業の参加だけではなく日々の活動にも協力していただく機会も増え、児童館の駐車場清掃など自主的にボランティア活動



も行っていたできました。さらに、交流を通して少しずつ子どもたちにも変化がみられるようになりました。シルバー世代の方々にも優しく話しかけたり、接したりすることができるようになり、子どもたちの成長を実感できるようになりました。

このような取り組みは、年々地域のつながりを深めています。初めは知らない人同士の方々が、児童館を利用することによって顔見知りになり、子どもたちの元気な力が地域の方々を喜ばせ、笑顔にしています。これからも、子育て支援や人の輪を広げることが出来る地域の拠点として、地域に必要とされる児童館を目指していきたいと思えます。

研修会で『パワー』をもらう

つくば市立吾妻西児童館

館長 伊藤 直哉

突然ですが、質問です。『研修会に参加され、その内容を一か月後に覚えている割合はどの位だと思えますか?』答えは『二割程度』だそうです。

これは、ある講師の方から伺った話です。話し上手な講師でも変わらないそうです。だからと言って研修会が無駄な時間なのかと言うとそうではありませんよね。『目からウロコ』の内容や『今までの再確認』をすることは皆さん多々経験していると思います。

それにも増して深く心に留まったのは、県内で自分と同様に日々児童の育成に取り組む仲間がいること。様々な悩みや課題を抱えつつ誠心誠意児童と向き合っている受講者の方々から私はかけがえのない『パワー』をいただいたこと。『また、頑張ろう。』と勇気をもらえたこと。皆様はいかがですか。

この二年あまり研修委員として研修に参加をし、受講者の真剣な眼差しやお話を伺いそのことを強く

感じました。このような研修会を共有できたことは、私にとって素晴らしい時間となりました。研修会に参加された多くの方に感謝申し上げます。ありがとうございます。



永年勤続者表彰

永年勤続表彰制度は、茨城県児童館連絡協議会に加盟する児童館において十年以上児童館職員として活動し、顕著な功績のあった方を表彰する制度です。

平成二十七年度は次の六名の方が表彰されることになりました。(敬称略)

日立市かしま児童館

石川 ヒロミ

日立市かしま児童館

袴塚 洋子

日立市かしま児童館

長谷川 雅子

つくば市立桜南児童館

山岡 治子

つくば市立一の宮児童館

佐藤 絵里

神栖市立女性・子どもセンター

竹中 富美子

表彰式は平成二十八年度総会にあわせて開催する予定です。



資格認定者

平成二十七年児童館厚生二級指導員資格認定者(敬称略)

土浦市立都和児童館

来栖 和子

つくば市立吾妻西児童館

伊藤 直哉

つくば市立吾妻西児童館

水井 純子

つくば市立吾妻西児童館

米川 いづみ

つくば市立栄児童館

八板 紘子

ひたちなか市立那珂湊児童館

大和田 博子

神栖市立うずも児童館

下津 いずみ

神栖市立波崎西児童館

南 栄

神栖市立波崎西児童館

新井 一江

神栖市立波崎西児童館

飯森 律子

茨城県立児童センターこどもの城

寺門 麻由

個人会員 根本 幸子

個人会員 南 順二

個人会員 森田 香津子

平成27年度 茨城県児童館連絡協議会 事業報告

実施年月日	事業名	場 所	概 要
27.4.23	通常総会	県立児童センター こどもの城	・児童健全育成活動功労者永年表彰 ・平成26年度事業報告及び決算報告について ・平成27年度事業計画、収支予算(案)について
	館長研修会	〃	・講義子育ての「みんなちがってみんないい」を考える ・講師NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所代表 小野村 哲 先生
27.4.23	第1回役員会	〃	・平成27年度 事業計画について ・平成27年度 児童館等職員研修会計画表について
27.5.21	全国児童館連絡協議会 都道府県児童館連絡協 議会会議	都市センターホテル	・会長, 事務員出席
27.5.22	全国児童館連絡協議会 会員総会	〃	・会長, 事務員出席
27.6.23	第1回児童館等職員 研修会(133名参加)	つくば市 大穂交流センター	・講義「健全育成論」 講師小美玉市玉里第二保育園園長戸田 しげ子 先生
			・講義「放課後児童クラブ論」 講師福島県須賀川市立うつみね児童館関根 英子 先生
27.6.23	第2回役員会	〃	・平成27年度 全国会議について ・平成27年度 放課後児童支援員について ・平成27年度 共同募金助成申請書について
27.10.1	第2回児童館等職員 研修会(73名参加)	茨城県 総合福祉会館	・講義「配慮を要する児童の対応」 講師茨城キリスト教大学教授石田 隆雄 先生
			・実技「ゲーム・運動遊び」 講師茨城女子短期大学准教授橋本 祥子 先生
27.10.1	第3回役員会	〃	・第3回児童館等職員研修会について ・常総市 豪雨災害について
27.10.31	ボランティアと遊ぼう第1弾 地域の輪!元気のWA!	常総市 中三坂集会所	・事務局長, 事務員(ボランティアとして参加)
27.11.7	ボランティアと遊ぼう第2弾 地域の輪!元気のWA!	常総市 ふれあい館	・会長, 副会長, 事務員(ボランティアとして参加)
27.12.1	第3回児童館等職員 研修会(130名参加)	つくば市立 荃崎交流センター	・実技「表現活動」 講師折り紙作家鈴木 恵美子 先生
			・講義「個別援助活動」 講師日本社会事業大学准教授木村 容子 先生
27.12.1	第4回役員会	〃	・第4回児童館等職員研修会について ・機関誌「ひまわり」について ・常総市の今”ボランティアと遊ぼう 地域の輪”に参加して ・スキルアップ研修会(案)について
28.1.21	第4回児童館等職員 研修会(116名参加)	神栖市 保健・福祉会館	・講義「集団援助活動」 講師常磐大学准教授宮本 秀樹 先生
			・実技「表現活動」 講師NPO法人 ボディパーカッション協会八代 貴司 先生
28.1.21	第5回役員会	〃	・機関誌「ひまわり」の状況について ・スキルアップ研修会について ・放課後児童支援員認定資格研修について ・常総市 募金活動及び災害見舞について
28.2.29	スキルアップ研修会 (つくば) (54名参加)	つくば市立 島名交流センター	・講義「現場のニーズにあわせたもの」 講師茨城キリスト教大学教授石田 隆雄 先生
28.3.15	スキルアップ研修会 (神栖) (93名参加)	神栖市 保健・福祉会館	・講義「現場のニーズにあわせたもの」 講師茨城キリスト教大学教授石田 隆雄 先生
28.3.15	第6回役員会	〃	・永年勤続表彰者について ・児童厚生員等基礎研修事業報告書について ・常総市への応援募金について ・次年度 運営体制につて
28.3.	機関誌発行		・機関誌「ひまわり36号」500部発行

☆平成27年度役員☆

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・会 長 中山 香織 (県立児童センターこどもの城) ・副 会 長 椎名 秀夫 (神栖市児童館) ・書 記 飯田 綾子 (かすみがうら市立稲吉児童館) ・研修委員 伊藤 直哉 (つくば市吾妻西児童館) ・研修委員 細田 政江 (阿見町立学校区・二区児童館) | <ul style="list-style-type: none"> ・会計監査 井上 亨 (ひたちなか市立那珂湊児童館)
<事務局> ・事務局長 福田 美恵 (県立児童センターこどもの城) ・事 務 員 綿引 初江 (県立児童センターこどもの城) |
|--|---|